

# ほうゆうたより 12<sup>DEC</sup>月号

編集委員：施設長 池 功 司

2014年もあとわずか、皆さんは1年を、うまく乗り切る事が出来ましたか？ ホームのお年寄りたちは、インフルやノロを寄せ付けず、うまく乗り切り笑顔で新しい年を迎える事が出来そうです。 来年は95年、ホームには84歳が3人・96歳が2人の計5人の年男・年女が居ます。 95の当たり年です。 おまけは、4月に99歳の與作さん、5月に100歳のコエヨさんと、お祝いラッシュです。 年越し餅も食べましたので、元気に誕生日を迎える事でしょう。

お年寄りは口々に、そろそろお迎えが来るとか、お世話になりましたとか言いますが、その気配はみじんもなく、ただただ職員を笑わせるだけです。 出来るものなら、いつまでもこの状態が続いてほしいと思います。 逆にお年寄りが、私に手を合わせます。 私はまだ死んでいませんと言うか、私が近いうちに死ぬのが見えているのではないかと心配になります。

また、今年も夏祭りや徘徊模擬訓練など、町内会やボランティアの皆様たちから多くのご支援を頂きました。 予期せぬ災害がいつ起こるかわからない時代です。 そのような時に、頼りにするのが町内会や家族皆様の協力です。 この良い関係を維持したいと考えて居ります。

一年間の感謝と、ご健勝を心から祈念申し上げます。 来年も宜しくお願い致します。



12/23日、クリスマス会を行いました。 毎年、私がサンタクロースになり、お年寄り一人一人にプレゼントを手渡すのですが、今年は8月に亡くなった、「現金希望」のキミエさんを思い出してしまいました。

ささやかな物ではなく、ズバリ！現金！！と言うぐらいの元気は年をとっても必要です。 キミエさんの後釜は、トミ子さんです。 トンチの効いた言葉がポンポン出ます。 サンタクロースもタジタジです。



12/28日は、恒例の餅つきです。 私も掛け声だけは元気ですが体が伴いません。 ようやくの事で、一臼付き、そそくさと、椅子に座って付きたての餅を、お年寄りたちと、ゴマ・きな粉・あん・大根おろし・納豆と自分達の好きな食べ方で、たらふく食べました。

今年のもち米は、ご家族からの差入れを使わせて頂きました。 粘りと腰のある、しっかりした餅でした。

やはり、スーパーで売っている餅とは、一味違います。 幸い今年も、掃除機の出番はありませんでした。

餅つきは、皆が笑顔になるので、やめられません。 日本人に生まれた事に、感謝！感謝！です。

## 1月の行事予定

1・1/2・3 書初め・カルタ取り

2・1月生まれ 星さん 1/11 93歳 日下部さん 1/29 78歳